

～～第8566回～～

皮子平

～H30. 11. 23～

天城の秘境、皮子平原生林を訪ねる。登山口の筏場は天城山の豊富な湧水を利用しワサビ田が広がる。ゲート前でマイクロバスを降り、川沿いの筏場林道に行く。人工林に遮られ景色はない。僅かに雪を纏った富士山が木の間越しに見えるだけ。本日の行程の2/3は林道歩きだ。帰りに通る予定の軽石林道分岐を左にとる。戸塚歩道入口を見送って更に林道を進む。かつての噴火による黒曜石が道端に転がっている。上井屋歩道入口に着く。ここまで約2時間30分、長い林道歩きだが標高は確実に上っている。案内板に「皮子平まで30分」とあり、ここから山道になる。溶岩だけでなく間伐して放置された木までも苔に覆われ不思議な美しさだ。登りが一段落し平坦になると西皮子平。カヤ原に防護柵が巡らされている。少し行き東皮子平で昼食にする。ブナとヒメシヤラの原生林に苔むした溶岩が神秘的な雰囲気を出している。なぜかブナの大木が点在する中にヒョロヒョロとヒメシヤラの幼木が数え切れないほど育っている。皮子平は伊豆最大といわれる3200年前の噴火口跡だ。目の前に見える半月状の壁(天城山縦走路の戸塚峠付近)が火口壁になる。ここを流れ下った溶岩が筏場まで達している。帰路は戸塚峠への分岐を左に戸塚歩道を下る。スギ・ヒノキと苔の森だ。「スギ精英樹天城110号」と標示された、ひときわ大きなスギの木がある。優れた特性を持つ優良樹で植林用苗木の親になる。朝通った筏場林道に出ると山道は終わり、すぐに軽石林道へ入る。こちらは落葉樹の森でカエデなどが散り際の紅葉を見せてくれる。何に使うのだろうか。軽石の採取が行われているようで軽石を詰めたフレコンが置いてある。筏場林道へ再び合流しゲートに着く。修善寺温泉で菅湯に浸り、紅葉で賑わう温泉街を少し散策して帰る。

参加者：13名（藤枝）

天候：晴/曇

地図：湯ヶ島

コースタイム：藤枝駅 500＝筏場ゲート 735…筏場林道(富士見橋)900…上井屋歩道入口 1015…西皮子平 1050…東皮子平 1104-1130…戸塚歩道入口 1235…軽石林道分岐 1250…筏場ゲート 1420＝修善寺温泉 1535-1635＝藤枝駅 1925

記録：藤枝支部 ゆ記

ブナとヒメシャラの森(東皮子平)



筏場のワサビ田

